

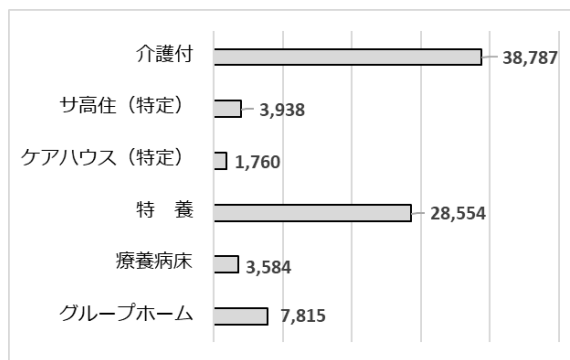
～令和6年度「第9期介護保険事業計画」に向けた検証～ 特養2.8万床の空き。重度対応可能な保険外施設が受け皿に。

株式会社TRデータテクノロジー（本社：東京都中央区 代表取締役 田中幹雄。以下当社）は、来年度の第9期介護保険事業計画施行を踏まえ、介護保険／保険外施設の整備実態を分析しました。結果は次のとおりです。なお、当社では全国の介護施設及び居宅サービスのマーケティング素材を提供しており、2023年5月には医療介護の地域資源が分析できる「地方自治体向け」BIツールをリリースします。

1) 介護保険の指定施設の空き室状況

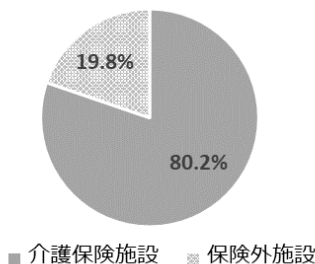
左図は全国の介護保険の指定を受けた施設・居住系サービスの空き室数である（空き床数）。介護付は3.8万床、特養は2.8万床の空き室が発生しており、定員数を母数にした空室率はそれぞれ14%と5%となる。

※本リリースのデータ元は2023年1月時点で入手できた厚労省の介護サービス情報公表システムおよび重要事項説明書／入居率不明件数は全体の2.3%（集計から除く）／略称：介護付（介護付有料老人ホーム）、サ高住（サービス付き高齢者向け住宅）、特養（特別養護老人ホーム）、療養病床（介護療養型医療施設）



2) 要介護度3以上の層の入居先内訳

下図（円グラフ）は前項の介護保険の指定施設のほか、保険外施設（住宅型、サ高住）も含めた全入居者の要介護度3以上の入居内訳である。保険外施設の入居割合は全体で約2割だが、下表では地域によって大きな差が生じている。福井県、新潟県等では従来どおり、介護保険施設が要介護度3以上の受け皿となっているに対して、主に西日本各県で保険外施設の割合が高い。近年、医療特化型や重度向けサービスを標ぼうする保険外施設が増加し、これらが特養の代替機能を果たしていると推測される。



※本項の保険外施設は住宅型、サ高住（非特定）を差し、ケアハウス等の他施設タイプは除く。

■ 保険外施設の要介護度3以上の割合が高い

	介護保険施設	保険外施設
沖縄県	50.6%	49.4%
宮崎県	55.3%	44.7%
大分県	57.6%	42.4%
青森県	59.8%	40.2%
大阪府	63.8%	36.2%
群馬県	65.1%	34.9%
佐賀県	69.3%	30.7%
熊本県	70.7%	29.3%
山口県	72.9%	27.1%
愛知県	73.6%	26.4%

■ 介護保険施設の要介護度3以上の割合が高い

	介護保険施設	保険外施設
兵庫県	88.0%	12.0%
滋賀県	88.0%	12.0%
福島県	88.5%	11.5%
高知県	88.5%	11.5%
京都府	89.0%	11.0%
埼玉県	89.4%	10.6%
秋田県	92.7%	7.3%
東京都	92.9%	7.1%
新潟県	93.5%	6.5%
福井県	94.1%	5.9%

福祉施設・高齢者住宅DataBaseの概要

【サービス概要】 全国の福祉施設の情報を収集して介護データベースを構築。ホーム基本情報のほか入居率や利用料等の商品情報を法人向けに提供。ホーム事業者や福祉機器メーカー、学術機関等の様々な分野で採用されている。

【企画協力・販売】 株式会社高齢者住宅新聞社 <https://koureisha-jutaku-db.com/>

本リリースへのお問い合わせ

株式会社TRデータテクノロジー 東京都中央区日本橋本町1-1-8 日本橋本町1丁目ビル10F
TEL: 03-6262-7743 MAIL: trdt_info@tr-h.co.jp WEB: <https://trdt.co.jp>



本内容のウェビナーご案内

5月8日・9日・15日・16日 各回45分（無料/LIVE）

※お申込みは当社サイトより。「【第9期介護保険計画】地域包括ケア「見える化システム」に替わる新ツール」